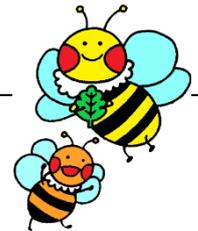




い お き

令和5年4月28日
柏市立柏第八小学校
学校だより第2号

【目指す児童像】自立・自律に向かい成長する子



小さな「自分で」を積み重ねて…

今日「1年生を送る会」を行いました。入学してからたった2週間で、1年生の子どもたちがすっかりたくましくなり、「お礼に『1年生になったよ』を歌います！」と、元気な歌声を聴かせてくれました。(詳しくはホームページで…)

さて、「自立・自律した大人」になるために、今子どもたちに今何が必要なのでしょう。それは、「自分でできた」という体験の積み重ねです。「転ばぬ先の杖」と言いますが、大人が先回りして子どもが躓くであろう石を取り除いたり、転ぶ前に手を差し伸べたりしたりしていたらどうなるでしょう。いつまでも大人に頼らなければ生きていけない子どもに育ってしまいます。「親」という字は「木」に「立」って「見」と書きます。少し距離をおいて、転んでも自分で起き上がる姿を見守る、立ち上がった時に「がんばったね」と励ます、そんな姿勢が必要なのだろうと思います。我々職員も、小さな失敗を「自分の力」で乗り越えて、たくましく生きていける子どもに育つよう、見守り、励ましていきたいと考えています。今月もよろしくお願ひいたします。

★信号が青だとしても…

朝、子どもたちが登下校する通学路を回っています。その中で、事故の危険リスクの高い場所がわかってきました。今日はその中で、私が1番危険だと感じた箇所をお伝えします。それは、柏八小の正門を出て右に折れ、坂を下り、桜通りに出ですぐの「押しボタン式信号」のところです。(先日配付した「2023 地域安全マップ」 『⑫動物病院前』) 交通量が多く、大型バスやトラックも多数行き来しています。

10年ほど前に、この場所で交通事故が起きていることを皆さんご存知でしょうか。小学生が信号のボタンを押し、青信号になりました。その子どもは青になったことを確認して道路を横断し始めました。しかし、軽自動車がノーブレーキで横断歩道内に侵入し、子どもをはねました。子どもは5メートルほど飛ばされアスファルトに落下。意識不明の重体となりました。ICUで治療をし、幸いにも3週間後に意識を取り戻し、その後奇跡的に回復したそうです。運転手の話では、「西日がまぶしくて、前方がよく見えなかった。」ということです。

右の写真が、現在の朝の様子です。子どもたちは信号を確認し、交通ルールを守って横断しています。しかし、左右の安全確認をする子どもはほとんどいません。私が2日間立って見ていて、自発的に安全確認をしたのは「たった一人」でした…。



名戸ヶ谷小方面から新柏に向かって車を走らせると、道路はカーブしており、ほとんどの車はここで加速します。信号は直前まで確認できません。そこで突然まぶしい西日が目に入ったら…。

青信号は「渡ってもいい」というサインにすぎず、安全は約束されていません。「左右の安全確認」をして初めて安全が担保されます。学校では5月1日の全校朝会で子どもたちに指導します。ご家庭でも「信号のある交差点の正しい横断の仕方」を再度ご導願います。